

平成 31 年 4 月 24 日

氷見市長 林正之 様

要 望 書

泊地区自治会

区長 出崎栄一



泊地区事業計画事項の進捗確認シート（市役所に要望及び共に対応する案件）

作製：平成31年2月13日

No.	事業計画	要望書、申請書、等	進捗	今後の予定、要望	打ち合わせ
1	市道海岸線斜面（宅下）の崩落対策	1)H29年度ふれあい、写真：1	1)ここ数年進展なし。土砂の撤去、通行止めの処置のみ。 2)H30/12/14；市との検討時、根本対策を進めるとのこと。	1)根本対策（ネット or 吹付け対策）を要望。	1)H30/11/26：回答なし 2)H30/12/14；左記の通り。
2	細崖の池付近からの地下水流入に対する応急対策	1)H28/5/13：要望書、ふれあいトーク（H28/H29）写真：2	1) H29年度ふれあい：応急的な対策として上流部既設水路からの吸出し防止対策を実施予定。 2)H30/8/21、9/3；現地確認（市）	1)上流部既設水路からの吸出し防止対策を予定。	1)H30年度：秋頃に対応予定 *（参考：「平成30年7月西日本豪雨」など）遅れている。
3	自動車通行時、グレーチング上の騒音対策	1)H28/4/7：現場確認、応急処置をした。	1)現場確認及び応急処置をして頂いたが、対策として不十分。除雪時にゴムが無くなる。	1)コンクリート蓋の完全固定&パッキン状ゴム配布、等の検討。	1)H30/9/3；現場確認。技術的具體策に苦慮。コンクリート蓋の完全固定化。
4	瀬間田地内、市道バイパス新設（予算化、測量）	1)H29年度ふれあいたーク	1)地権者の同意済。 水害のふれあい	1) 予算化、測量を進める。	1)H30/9/14、11/21：来年度、測量に取り掛かる。課題等抽出。
5	瀬間田地内、市道の一部拡幅	1)H29年度ふれあいたーク、写真：3	1)地権者の同意済。	1) 道路支援事業で進める。	
6	宅裏の排水処理対策	1)H29年度ふれあいたーク：市長、他、現場確認	1)H30/12/1、5、16；現場確認、土水路の設置場所を決定。 2)12/17；地権者の同意を得た。次年度以降に具体策を進める。	1)H31年度以降、支援事業で具体化する。	1)H30/12/1：支援事業の活用方法、等で市の指導をお願いした。（現地確認）
7	さん宅横市道地下にある直角排水路の補修	1)H30/10：メールでのやり取り。		1)H31年度、具体化する。	
8	宅裏L型擁壁箇所 の災害防除工事	1)H30/10：メールでのやり取り。写真：4		1)H31年度、具体化する。	

10	国道 160 号、カーブミラーの移設	1)H30/10：メールでのやり取り。写真：6		1)H31 年度、具体化する。(柱ミラー?)	
11	宅横の水路へのグレーチング設置	1)H31 年度、新規要望。写真：7		1)H31 年度、具体化する。	
12	宅横～片山礼子宅裏の市道側溝へのグレーチング設置	1)H31 年度、新規要望。写真：8		1)H31 年度、具体化する。	
13	宅納屋裏のグレーチング個所の追加(排雪対応)	写真；9	*H30/1/26；(回答) 原材料支給で支給は可能。ただし、重量があるため取替方法が問題である。	1)H30/12/14；設置に向けて、別途計画する。	*H30/9/3；現地確認、進展なし
14	土石流注意勧告の掲示板(宅前)	1)さび付いていて、内容が不明。写真；10	1)以前より要望中。H30/11/9、現場再確認	1)H30/12/1；担当者確認。H31 年度予算計上。	
15	富山県によるアンケート調査(追加要望)	中小集落への支援、助成体制について	アンケートへの回答	市の関係部署へ引続き要請していく。	*H30/8/5、調査結果を送付されてきた。
16	国道 160 号沿いの護岸、美岸化に関する要望(新規)	公民館裏～セリオール間の海岸線の環境、護岸、美化、整備。	関係機関に要望(環境課、県土木)	*夏季には悪臭の問題あり。写真：20	
17	防災ラジオの離陸対策の構築	ラジオの配布後も聞き取り難い状態が続く	電波が微弱なため、小型基地局の設置、等を要望		*電波が弱い。商業放送はしっかり聞くことが出来る。
18	街灯の移設(古木栄宅裏→宅前)		さんが転居した後、現状では不要なため、移設を要望	1)H31/3/22:「街灯移設について」提出	*4月2日に移設済。写真：16
19	160 号から海岸への上り降り階段の設置		2/9の現場立ち合い時に、さん宅前辺りに設置を要望		*3/31 時点で、設置済。写真；17
20	160 号から市道海岸線への上り口の補修	写真：18	3/20、現場立ち合い時に防火用水北側に補修実施を要望		
9	瀬間田 4 号線の倒木、崖崩れの瓦礫の撤去、処置	1)H30/10：メールでのやり取り。写真：5		1)H31 年度、具体化する。	

泊地区計画事項の進捗確認シート (県土木、国交省、他に要望及び共に対応する案件)

No.	事業計画	要望書、申請書、等	進 捗	今後の予定、要望	打ち合わせ
1	セリオール向いの歩道斜面、等の国道沿いの雑木伐採	1)H30 年度要望。写真：11	1)H30/11/6；現場確認。国土交通省で対応策検討中。		1)H30/11/6；左記のとおり
2	国道 160 号防火用水北側の斜面安全対策	1)H31 年度、再要望。写真：12	1) 平成 30 年 7 月 2 日；『平成 30 年度 国道 160 号及び国道 415 号氷見区間整備促進協議会』時に、副所長の「今後、防災工事も予定している」との挨拶あった。	1)H31 年度、具体化する。	
3	前急傾斜擁壁部の崩落への対応（応急&根本対策）	1)H30/1/12；崩落&応急対策実施、写真：13 2)H30/4/29；松原市議宛の要望書	1)H30/11/27；急傾斜擁壁部、他の根本的な予防策に関し、市及び市議と現地確認を実施。 2)12/16, 17；防御ネット柵の補修及び周囲の雑木の伐採を完了。	1) 根本的な対策を要望。 2) さん作成の要望書を添付。	1)H30/11/27；現場確認、今後の方向付けの検討、明確化。
4	「急傾斜地関係施設の長寿命化計画策定のための点検調査」の進展	1)H29 年度ふれあいトーク、写真：14	1)H30/5/21～6/30；県により点検、健全度の調査実施。優先度により補修工事を実施。	1) 健全度を調査して、順次展開予定。	1) 車庫裏は境界争いの問題あり。
5	急傾斜擁壁部付近の宅地への雑木の垂れ下がり対応	1)H31 年度、 、宅裏付近を優先して要望。 2) 神明社南側の倒木、他の処理を要望。 写真：19	1) 県に要望書提出する。 2) 4/1、氏より要望あり。	1)H31 年度、具体化する。 2) H31 年度要望に追加予定。	
6	北泊突堤の破損	1)台風 21 号の影響で、破損。写真：15	1)H30/11/6；現場確認	1) H30/11/21；県の判断待ち状態。	
7	「瀬間田谷内 通常砂防事業」(用地買収・借り上げ、等)	1)陳情書(H22/9)	1) 県土木に対して、継続して、要望中	1) 要望を継続	(進展なし)

8	津波避難訓練の実施(避難経路)	1)H29 年度ふれあいトーク	1)左記：H30 年度津波避難計画で、津波避難困難区域を抽出し、そこで津波退避経路の確保が必要となる場所を確認し、今後の対策について検討予定。		1)進展なし(回答内容とは別に、要望。避難訓練からも、住民から不安の声が出ている)
9	国道 160 号線の件(四地区合同)	1)H29 年度ふれあいトーク 2)H30/5/16；蕨田県議、荻野&松原市議同行のもと、4 区長連名で国交省富山河川事務所長／高岡国道維持事務所長、橋衆議院議員／堂故参議院議員、及び氷見市長宛に要望書を提出した。	1) 今後の進め方について『国道160号及び国道415号氷見区間整備促進協議会』の要望事項として、「 <u>国道160号蕨田児童公園～脇方橋間</u> 」の蕨田トンネル内の拡幅、S字の急カーブ個所の解消・見通しの確保、 <u>自転車・歩行者道の整備、雨量規制や崖の崩落などによる通行規制問題の解消、等</u> 、を取り上げて頂き、しっかりと実現されるよう一層の整備促進されることを要望します。	1) 添付した「国道160号泊地内の急カーブ個所の改修」にて、地区内の危険個所に関して、具体的に要望します。 2) 今年も富山事務所へ要望に上がる予定になっています。副市長と建設部長にも同行頂き、氷見市としての熱意をもっともっとアピールして頂きたい。	1)H30/5/16、国交省、他に提出 <u>*毎年、富山事務所へ要望に上がっているが、いまいち、虚無感に襲われている。そろそろ、何か具体的に見えるものがほしい。</u>

写真；1 市道斜面、宅下)の崩落(平成29年撮影)



写真；2 細崖の池付近からの地下水流入(平成29年撮影)



写真；3 市道バイパスの一部拡幅(平成30年撮影)



写真；4 宅裏L型擁壁箇所の災害防除工事（平成31年撮影）



写真；5 瀬間田4号線の倒木、崖崩れの瓦礫の撤去、処置（平成30年撮影）



写真；6 国道160号、カーブミラーの移設（平成31年撮影）



写真 ; 7-

宅横の水路へのグレーチング設置 (平成 31 年撮影)



写真 ; 8

宅横へ

宅裏の市道側溝へのグレーチング設置 (平成 31 年撮影)



写真 ; 9

納屋裏のグレーチング個所の追加 (平成 30 年撮影)



写真；10 土石流注意勧告の掲示板（宅前）（平成30年撮影）



写真；11 セリオール向けの歩道斜面、等の雑木伐採（平成29年撮影）



写真；12 国道160号防火用水北側の斜面安全対策（平成28年撮影）



写真；13

宅前急傾斜擁壁部の崩落への対応（応急&根本対策）（平成 30 年撮影）



写真；14

「急傾斜地関係施設の長寿命化計画策定のための点検調査」の進展（平成 28 年撮影）



写真；15 北泊突堤の破損（平成 30 年撮影）



写真：16 街灯の移設（ 宅裏→ 宅前）



写真：17 160号から海岸への上り降り階段の設置



写真：18 160号から市道海岸線への上り口の補修



写真：19 神明社南側の倒木、他の処理を要望



写真：20 国道160号沿いの護岸、美岸化に関する要望



国交省、他に要望事項 ; No. 9 について

※「国道160号泊地内の急カーブ個所の改修」

1. 具体的な要望事項

- 1) 当案件については、平成28年5月に、蕨田県議及び地元市議にご尽力を頂いて、蕨田、小杉、泊、宇波の4地区合同の要望事項として、氷見市長はじめ各関係機関に要望書を提出したものです。
- 2) 《参考》『泊地内の急カーブ近辺での死亡事故、接触事故、および事故には至らないヒヤリハット事例』で示した事例の他に、最近にも、同じ事象が繰り返し発生しています。(平成29年7月、平成30年2月、平成30年9月)
- 3) 泊地内の急カーブ個所の問題について、改めて、認識を共有していただき、市長から各方面への働きかけ、協力の取り付け、等を強く要望するものです。
- 4) 改修後のイメージ図を示します。地元としては、過去には死亡事故が多発しており、今でも、自損事故やヒヤリハットが発生していることから、現在の道路の拡幅という事ではなく、海側に移動した改修を要望します。海側に移動した場合、灘浦定置漁業組合さんの作業場所を通ることになります。このことからこの区間は高架橋化が必要となります。市と国交省、農水省などの関係機関と交渉を進めるに当たり、よろしく願いいたします。

《参考》

I. 以下は、『泊地内の急カーブ近辺での死亡事故、接触事故、および事故には至らないヒヤリハット事例』です。(平成28年現在)

1. 死亡事故

- 1) 小杉地区住民(7年程前)
- 2) 宇波地区住民(22年程前)

* 氷見方面から来た自動車が急カーブを曲がりきれず、濱元家の塀垣に激突した自損、死亡事故

- 3) 泊地区住民(40年程前)
- 4) 小杉地区住民(45年程前)

* 1)、3)、4)はいずれも地区住民が対象区間で巻き込まれた死亡事故であり、悲しい出来事として、いまだに強く記憶されています。

2. 接触事故、自損事故、など

- 1) 氷見方面から来た自動車が、田前商店前で市道へ左折時に、後方から来た自動車に追突された追突事故(H24/12頃)
- 2) 氷見方面から来た乗用車が急カーブを曲がりきれず、坂下家の塀垣に激突した自損事故

(H24/11 頃)。

- 3) 自動車で泊地区内市道から国道に出ようとしたとき、灘浦方面から来た自動車との接触事故 (H17/5 頃)

など

3. ヒヤリハット (地区住民からのインタビューによる)

- 1) 自動車で泊地区から国道へ出ようとしたとき、灘浦方面から来た中、高生の自転車とあわや接触事故になりそうになった。(数人から、同意見あり)

- 2) 泊地区で、歩いて国道を横断しようとして立ち止まって、自動車が通過していくのを待っていると、氷見方面から走ってくる自動車がこちらに向かって来るようで、非常に恐ろしい目にあつた。(数人から、同意見あり)

- 3) 泊地区から、真常寺、民宿磯波風、等、灘浦方面へ歩いて行こうとすると、濱元家前から泊コミュニティーセンター裏手の区間は歩道が無いので、氷見方面から来る自動車に撥ねられそうになった。(数人、特に、年配者から、同意見あり)

※これらの事象に対しては、同時に、自動車の運転手も歩行者などの安全に対して、非常に気を使い、神経を使う箇所となっています。

など

4. その他

- 1) 平成 30 年度より、灘浦中学校と北部中学校とが統合され、泊地区からの他に、灘浦方面からの生徒が自転車通学をしています。高校生もいます。

- 2) 平成 29 年 7 月には、橘慶一郎衆議院議員が現場視察するのに当たって、同議員がごみステーション横を海側から 氷見方面に向かって横断しようとした際に、氷見方面から来た自動車にあわや事故にあいそうになった。

- 3) 平成 24 年 11 月頃に起こった、氷見方面から来た乗用車が急カーブを曲がりきれず、坂下家の塀垣に激突した自損事故が、平成 30 年 2 月には、別人により、再発しております。

- 4) 自動車で泊地区から国道へ出ようとしたとき、灘浦方面から来た中、高生の自転車とあわや接触事故になりそうになったと言う事象が平成 30 年 9 月にも発生し、地区住民から、改めて、この個所の危険性について、指摘されております。

この区間の危険性は益々増してきております。



現在の国道 160 号線。このあたりは、カーブがきつく、見通しが悪い上、歩道がなく、特に、事故やヒヤリハットが多い個所となっています。

改修後のイメージ図。地元としては、過去には死亡事故が多発しており、今でも、自損事故やヒヤリハットが発生していることから、現在の道路の拡幅という事ではなく、海側に移動した改修を要望します。灘浦定置漁業組合さんの作業場所を通ることからこの区間は高架橋化が必要となります。市と国交省、農水省などの関係機関と交渉を進めるに当たり、よろしくお願いいたします。

平成 31 年 2 月 20 日

氷見市建設課課長殿

氷見市泊地区

川口 明彦

自宅周辺危険個所に関する要望について

1. 自宅周辺川の荒廃、氾濫について

土砂災害特別警戒区域に指定されている自宅周辺の川の上流付近は竹木が茂っており、平成 30 年冬の豪雪で倒れ、川を塞いだ状態となりました。川自体も荒廃が進んでいて、岩石の堆積、漏水（支流状態）状態となっています。また、短時間集中豪雨時には水量が一気に溢れ、市道にも流れ出すこともあり、生活に支障きたしています。生活している上で、豪雨時、豪雪時、また、台風の接近時には非常に心配しています。これらの自然の災害は毎年繰り返されることであり、夜も眠れないと言ったことを繰り返しています。

2. 自宅周辺雑木、土砂の崩落の危険性について

平成 30 年 1 月 12 日に発生した自宅前倒木時には、急傾斜地斜面上に生えていた大木が土砂もろとも崩落し、急傾斜防御柵を破壊し、庭や市道を直撃しました。あわや、家屋や納屋を直撃しそうな状況でしたが、幸いにも、ここまで至ることがありませんでした。しかし、納屋上方斜面上部にはいまだに倒木がそのままの状態となっていたり、大木が残っていたりしており、次に、この付近で土砂崩れ、等があった場合には、ここを直撃しかねません。

3. 自宅後方部の土砂の陥没、崖崩れの恐れについて

自宅後においては、雨水などが伏流したりして、土砂の陥没や崖崩れを起こしている個所があり、それに伴い、倒木や倒木の恐れがある雑木等があり、これも、短時間集中豪雨時、豪雪時、また、台風の接近時いつ何時、崩落してくるかといった危険な状態にあります。

4. 具体的な要望について

昨年末には、市役所、松原市議、地区役員同行の元、現地確認して頂きました。一刻も早く、生活の不安を一掃すべく、早急な対応策を具体化して頂きますようお願い致します。

※ 添付資料；次ページの周辺写真等参照願います。

川の濁流 (平成 30 年撮影)



川への岩石の堆積 (平成 30 年撮影)



土砂の陥没、崖崩れ (平成 30 年撮影)



平成31年3月12日

氷見市建設課課長殿

区長 出崎栄一

国道160号沿いの護岸、美岸化に関する要望について

1. 要望理由と現状

- 1) 富山湾は、平成26年10月に、「世界で最も美しい湾クラブ」(全世界で41湾)に加盟しており、昨年末には、富山県により(実施:国交省)泊地区の160号区間について、「富山湾岸サイクリングコース」延伸工事が実施されました。
- 2) にも拘らず、添付する「位置図」の区間では、次ページの写真で示しますように、流木やペットボトル、浮き、等の漂着物のたまり場となっています。また、テトラポットを積んでいる区間では、これらの隙間には、こういったものが詰まり、積みあがっているかさえも分からない状態になっています。更には、雑木が生え放題になっていて、ビールの空き缶などの捨て場にもなっていて、非常に汚い、見苦しい状態になっております。
- 3) この区間は、また、クリーン作戦を展開するにしても、危険な個所になっていることから、「氷見市一斉清掃」の対象区間にもなっていません。「世界で最も美しい湾クラブ」を標榜しているながら、富山県や氷見市、地元から見放された様に、余りにも、目に余る状態が続いています。

2. 具体的な要望

- 1) この区間の海岸線を、美岸化を兼ねた護岸工事(阿尾、藪田、等の公園付近海岸線の美化、整備に同じ)をして頂き、また、泊公民館横のスペースを小公園化して、サイクリストや地元住民の休憩や憩いの場としても利活用出来るようにして頂きますようお願いいたします。
- 2) 漂着物が着ても、速やかに、撤去が出来、一斉清掃時の対象区間に加える事も出来るように、安全性の確保もして頂きたい。また、夏季には悪臭の問題があり、環境面からの対応もお願いいたします。

※ 添付資料; 次ページの周辺写真及び一図を参照願います。

※ 添付写真

流木、ペットボトル、浮き、等の漂着物のたまり場（平成31年3月撮影）



テトラポットの隙間に詰まったり、積みあがった漂着物（平成31年3月撮影）



テトラポットの隙間から生い茂った雑木、捨てられた空き缶、等（平成31年3月撮影）



位置図

*以下の「泊地内」地図のうち、赤く塗った箇所付近。

